

103-159

問題文

播種性血管内凝固症候群(DIC)の治療薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. アンチトロンビンⅢは、ヘパリン存在下で血液凝固第Xa因子とトロンビンを阻害する。
2. トロンボモデュリン アルファは、トロンビン依存的に活性化プロテインCの産生を促進する。
3. ダルテパリンは、アンチトロンビン非依存的に血液凝固第Xa因子を阻害する。
4. ダナパロイドは、血液凝固第Xa因子を阻害することなく、トロンビンを阻害する。
5. ナファモスタットは、プラスミンを阻害することなく、トロンビンを阻害する。

解答

1, 2

解説

選択肢 1,2 は、正しい記述です。

選択肢 3,4 ですが

ダルテパリン、ダナパロイドはヘパリン類似物質です。アンチトロンビンⅢの作用を増強、セリンプロテアーゼ（トロンビン、第Xa因子等）の活性を抑制します。アンチトロンビンⅢによるトロンビン阻害作用に比べ第Xa因子阻害作用が強いです。アンチトロンビン非依存性ではありません。また、Xa因子を阻害します。よって、選択肢 3,4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

ナファモスタットは、抗トロンビン薬です。タンパク質分解酵素阻害薬で、アンチトロンビンⅢ非依存的に凝固因子を阻害することにより抗凝固作用を示します。プラスミンも阻害します。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。

参考